

# ノロウイルス・RSウイルス

## 感染症に注意ください

11月に入ると、ウイルス性胃腸炎（ノロウイルス）や呼吸器感染症（RSウイルス）が流行し始めますので、ご注意ください。

### ●ノロウイルスとは？

ノロウイルスは、感染性胃腸炎の原因となるウイルスのひとつで、毎年11月から翌年4月にかけて多発します。また、その感染力は非常に強く、多くの遺伝子型が存在するため、一度感染しても、異なったタイプのウイルスに感染して、再び同じような症状に見舞われることもあります。抵抗力の弱い乳幼児や高齢者では、重症化することもありますので、特に注意が必要です。

### ●どんな症状？

ノロウイルスの潜伏期間は、24〜48時間です。主な症状は、下痢・吐き気・おう吐・腹痛・発熱などです。こうした症状が1〜2日続いた後、治癒します。治癒した後、ふん便からのウイルス排出は1週間程度、長いと1カ月程度続くため、注意が必要です。

### ●感染予防のポイント

ノロウイルスは、ウイルスに触れた人や食べ物から感染するため、次のことに十分注意して

ください。

- ・食品は中心部までしっかりと加熱する。（ノロウイルスに汚染されている食品でも、「中心温度85℃以上で1分以上の加熱」をすれば、感染性はなくなる）
- ・調理器具は洗剤で十分に洗浄したあと、同様に加熱殺菌するか、塩素系漂白剤で消毒する。
- ・ふん便や吐物の処理には、使い捨てマスクと手袋を使用する。
- ・おう吐物で汚れた床や衣類は、塩素系漂白剤で消毒する。
- ・おう吐物などを処理したあとは、流水で十分に手洗いとうがいをする。

### ●症状がでたら・・・

脱水にならないように十分に水分をとり、おう吐や下痢、腹痛などの症状が出たときには、早めに受診をしてください。また、感染の疑いがあるときには、調理に従事しないようようにしましょう。

### ◆RSウイルス感染症とは？

急性呼吸器感染症で、毎年11月から翌年1月に流行し、乳児の半数以上が1歳までに感染し、その後も再感染を繰り返します。

### ◆どんな症状？

接触や飛沫（唾液など）を介して気道に感染し、2日〜1週間（通常4〜5日）の潜伏期間の後に、発熱、鼻水、咳などの症状がでます。息を吐くときに、ゼーゼー、ヒューヒューという呼吸音があるのが特徴で、乳幼児特に生後6カ月以内の乳児）

## 小児肺炎球菌ワクチンが切り替わります

### 切り替わります

市では、肺炎球菌が引き起こす髄膜炎や敗血症、肺炎などの重い病気を防ぐため、生後2カ月から生後60カ月に至るまでの間にあるお子さんを対象に、小児肺炎球菌ワクチンを定期予防接種として実施しています。

11月1日金の国の制度改正により「プレベナー（沈降7価肺炎球菌結合型ワクチン）」から「プレベナー13（沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン）」へ一斉に切り替わります。

これにより、初回接種時に生後2カ月から生後7カ月までに至るまでの間にある方の追加接種の間隔について、10月31日（木）までは、初回接種後60日以上の間隔をおいて行うことになっていました。11月1日（金）からは、初回接種後60日以上の間隔をおいた後であって、生後12カ月に至った日以降に行う事になります。

の場合、重症化しやすい傾向にありますので、注意が必要です。

### ◆感染予防のポイント

接触や飛沫により感染しますので、手洗いとうがいを行いましょう。

### ◆症状がでたら・・・

気管支炎の咳は、気温の変化

すので、接種間隔に注意し、予防接種のスケジュールを組み立ててください。

なお、すでに「プレベナー」で数回接種している場合は、残りの回数を「プレベナー13」で接種しますので、切り替えによる接種回数などの変更はありません。

### 【接種スケジュール】

1. 開始が生後2カ月から生後7カ月に至るまでのお子さん

初回接種については27日以上の間隔をおいて3回、追加接種については生後12カ月以降に、生後12カ月から生後15カ月に至るまでの間を標準的な接種期間として、初回の3回目接種から60日以上の間隔をおいて1回接種します。ただし、初回の2回目および3回目の接種は、生後12カ月に至るまでに完了させる必要があります。それを超えた場合は行いません（追加接種は

が激しくなると出やすく、湿度に気を付け、せき込んだ時にはだっこしたり、上半身を起こして背中をさすったりすると少し楽になります。また、熱があるときには、脱水予防や痰を出しやすくするために、水分を十分に摂りましょう。

### 実施可能）。

2. 開始が生後7カ月に至った日の翌日から生後12カ月に至るまでのお子さん

初回接種については27日以上の間隔をおいて2回、追加接種については生後12カ月以降に、初回の2回目接種から60日以上の間隔をおいて1回接種します。ただし、初回の2回目の接種は、生後13カ月に至るまでに完了させる必要があります。それを超えた場合は行いません（追加接種は実施可能）。

3. 開始が生後12カ月に至った日の翌日から生後24カ月に至るまでのお子さん

60日以上の間隔をおいて2回接種します。

4. 開始が生後24か月に至った日の翌日から生後60か月に至るまでのお子さん

1回接種します。

問 健康増進課（谷和原保健福祉センター内） 2100 2100